

(令和7年3月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	3月は、気温の変動が激しく、出荷が不安定な品目もあったものの、太平洋側でもまとまった降雨があり、全体としては総入荷量は前年同月並みとなり、総取扱金額は、前年同月比で3%上回った。今後は、気温上昇により生育が進み、安定した入荷が見込まれる。 4月は、野菜では、たけのこや木の芽が最盛期を迎え、きゅうりやとまと等の果菜類が増える。果実では、伊予かんや不知火などの中晩柑類が終盤を迎え、いちご類が減少傾向となる。
野 菜	野菜全般の入荷量は前年同月並みであったが、単価は9%上回った。 根菜類の入荷量は前年同月比で11%下回り、単価は29%上回った。 葉菜類の入荷量は前年同月比で6%上回ったが、長期化した高値を受け、単価は11%上回った。 果菜類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は4%下回った。 土物類の入荷量は前年同月比で6%下回り、単価は16%上回った。
果 実	果実全般の入荷量は前年同月比で6%下回ったが、単価は前年同月並みであった。 かんきつ類の入荷量は前年同月比で14%下回ったが、単価は前年同月並みであった。 りんご類の入荷量は前年同月比で19%下回り、単価は6%上回った。 いちご類の入荷量は前年同月比で31%上回り、単価は21%下回った。 メロン類の入荷量は前年同月比で26%下回り、単価は4%上回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん 西洋にんじん	徳島、長崎、鹿児島、滋賀、香川などから入荷した。入荷量は前年同月比で１７％下回り、単価は６３％上回った。 徳島、鹿児島を中心に、愛知、長崎などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は２８％上回った。
【葉菜類】 はくさい キャベツ ほうれんそう レタス	兵庫、長崎を中心に、茨城、宮崎、滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で２２％上回ったが、長期化した高値を受け単価が下がりきらず、単価は１９％上回った。 愛知を中心に、滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で７％下回り、単価は５６％上回った。 茨城、福岡、京都を中心に、滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で３５％上回り、単価は２３％下回った。 徳島、兵庫、長崎、茨城、岡山などから入荷した。入荷量は前年同月比で１１％下回ったが、高単価が長期化していたことから需要が少なく、単価は７％下回った。
【果菜類】 きゅうり なす	宮崎を中心に、高知、佐賀、滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で４％上回り、単価は１７％下回った。 高知を中心に、岡山などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は５％下回った。

とまと	熊本を中心に、福岡などからも入荷した。入荷量は前年同月比で8 %上回り、単価は4 %下回った。
ピーマン	宮崎、高知を中心に、茨城などからも入荷した。入荷量は前年同月比で4 %上回り、単価は11 %下回った。
【土物類】 ばれいしょ (メイクイン含む)	北海道、鹿児島を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で10 %上回ったが、中下旬に入荷量が不足し単価は52 %上回った。
たまねぎ	北海道を中心に、静岡、長崎などからも入荷した。入荷量は前年同月比で12 %下回り、単価は3 %上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
普通みかん	和歌山を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で２４％下回ったが、いちご等の競合果実の数量増加の影響で需要が減少し、単価は８％下回った。
伊予かん	愛媛から入荷した。入荷量は前年同月比で５３％下回り、単価は３１％上回った。
はっさく	和歌山を中心に入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は２５％上回った。
不知火（デコポン）	和歌山を中心に、佐賀、愛媛、福岡などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は８％上回った。
サン富士	青森から入荷した。入荷量は前年同月比で１３％下回り、単価は１２％上回った。
いちご	福岡、熊本、大分、佐賀、長崎などから入荷した。入荷量は前年同月比で３１％上回り、単価は２１％下回った。
アールスメロン	静岡を中心に、高知などからも入荷した。入荷量は前年同月比で８％上回り、単価は１８％下回った。